



《会計・税務の知識》 社長の平均年齢が過去最高に！

はじめに

社長の年齢はいくつですか？

社長は、一般社員とは異なり定年の規定が無い限り、何歳になっても現役で働き続けることができます。現在、70歳・80歳の社長が現役で活躍されている会社も多くありますが、今後ますます高齢化の進展による事業承継問題の顕在化が予想されることから、事業承継の円滑化は早急に解決すべき政策課題となっています。

1. 概要

民間調査会社の榊帝国データバンクが、「2015年全国社長分析」の結果を公表しました。約114万社のデータを抽出し、社長の交代率の他、全国の社長の平均年齢や年代別構成などについて調査分析したものです。それによると社長の平均年齢は59.0歳で過去最高を更新しました。

2. 後継者難が深刻化

社長の平均年齢推移をみると、一貫して上昇を続けており、2014年に過去最高齢を更新していることから、社長の高齢化が進んでいることがわかります。また、社長交代率（過去1年間に社長の交代があった企業の比率）は、5%未満の低水準で推移しています。



年	1990	91	92	93	94	95	96	97	98	99	2000	01	
交代率(%)	4.58	4.96	4.89	4.91	4.06	3.86	4.16	3.98	4.23	4.19	4.09	4.30	
平均年齢(歳)	54.0	54.3	54.5	54.8	55.1	55.4	55.6	55.9	56.1	56.3	56.6	56.8	
年	2002	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14
交代率(%)	4.17	4.28	4.15	4.09	4.25	4.36	4.22	4.34	3.90	3.88	3.61	3.67	3.83
平均年齢(歳)	57.0	57.2	57.4	57.7	57.9	58.1	58.2	58.3	58.4	58.5	58.7	58.9	59.0

出典：株式会社帝国データバンク「特別企画：2015年全国社長分析」

3. 事業承継に関する税制改正

中小企業の後継者の方が現経営者から株式を承継する際の相続税・贈与税の納税を一定額猶予する、いわゆる「事業承継税制」を活用しやすくするため、年々改正が行われています。平成25年は、経済産業大臣への事前確認が不要となったり、親族外でも本税制の対象とするなど、要件・手続きの大きな緩和がありました。平成27年税制改正では、2代目承継後、早い段階での3代目への承継が可能となる予定です。

最後に

社長の平均年齢が上昇し続ける中、交代率が低い状態が続いているのは、多くの企業で後継者難という課題に直面していることが考えられます。新たな事業承継税制が社長の交代シーンにどれだけ効果を発揮するのか、注目が集まっています。

(担当：中村)

TEL.03 (5350) 7435 otoiawase@koyano-cpa.gr.jp

http://www.koyano-cpa.gr.jp/ ©KOYANO C. P. A OFFICE 無断転載・引用禁止